

大阪大学蛋白質研究所セミナー

ペプチド研究の新潮流：発見から応用へ

場所：大阪大学蛋白質研究所講堂
日時：2011年3月14日(月)～15日(火)
<http://coco.protein.osaka-u.ac.jp/>

(14日)

- 13:00-13:05 所長挨拶 長谷 俊治 (阪大蛋白研)
13:05-13:45 ペプチドミクスを活用した生理活性ペプチドの探索
佐々木 一樹 (国立循環器病研究センター)
13:45-14:25 グレリンと自律神経機能
児島 将康 (久留米大 分子生命)

コーヒーブレイク

- 14:35-15:15 B型ナトリウム利尿ペプチドの分子型の多様性と臨床応用
錦見 俊雄 (京大医 内分泌代謝)
15:15-15:55 ペプチド研究の成果を臨床応用に展開する橋渡し研究の進歩
中里 雅光 (宮崎大医 神経呼吸器内分泌代謝)

コーヒーブレイク

- 16:05-16:35 質量分析によるペプチドバイオマーカー探索
高尾 敏文 (阪大蛋白研)
16:35-17:15 タンパク質に隠された新しい生理活性ペプチド、「クリプタイド」～同定と生体機能
向井 秀仁 (京薬大 創薬科学フロンティア研究センター)
17:15-17:55 内在ペプチドの多様性と可能性
南野 直人 (国立循環器病研究センター)

18:00- 懇親会

(15日)

- 9:00-9:40 選択的化学反応に基づく修飾生理活性ペプチドの合成
相本 三郎 (阪大蛋白研)
9:40-10:20 コラーゲンの特異な構造、多彩な生理機能の解明とその模倣
小出 隆規 (早稲田大 先進理工)

コーヒーブレイク

- 10:35-11:15 新規抗菌性ペプチドAG-30の難治性潰瘍治療への応用
金田 安史 (阪大院医 遺伝子治療)
11:15-11:55 WT1ペプチドを用いたがんの免疫療法
杉山 治夫 (阪大院医 機能診断)

オーガナイザー：高尾 敏文(阪大蛋白研)、南野 直人(国立循環器病研究センター)
杉山 治夫(阪大院医 機能診断)

連絡先：TEL:06-6879-4312, E-mail: tak@protein.osaka-u.ac.jp

参加費無料、事前登録不要